

(大樹町) 公衆無線LAN環境整備支援事業・事業の概念図

目的

・大樹町では、大規模震災発生時には多数の避難者が利用することが想定され、住民等が災害情報等入手するためのインフラ整備が課題となっている。本事業により、3施設の屋内計17箇所にアクセスポイントを設置し、インターネット環境を整備することで災害発生時にも住民等が広く情報収集できる状態を確保する。また平時においては施設利用者、地域住民等への情報提供・情報発信に利用し、公共施設の有効活用を図る。

事業の概要

・行政の持つ災害関連情報の提供、緊急事態時の重層的なインターネット接続手段の一環を提供することを可能とし、防災・減災に資する地域防災計画の一要素とする。また平時においては施設利用者、地域住民等への情報提供・情報発信に利用し、公共施設の有効活用を図る。

点線の枠内を補助対象とする。

「大樹町生涯学習センター」へ
センター設備及び認証装置を設置

大樹町生涯学習センター

インターネット

平常時は施設利用者、地域住民等への情報提供・情報発信として使用し、災害時は学習センター内の認証サーバの設定変更により、全てのアクセスポイントが災害時モードに切り替わる。

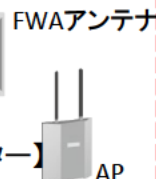
民間通信事業者による
FWA網を活用

FWA網

補助対象

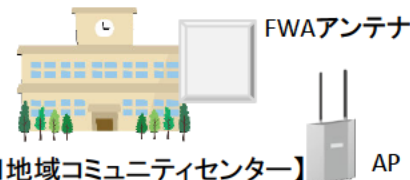
町の指定避難場所
各フロアへ屋内アクセス
ポイント計5台
建物内をカバーする

【中島地域コミュニティセンター】



町の指定避難場所
屋内アクセスポイント7台
建物内をカバーする

【尾田地域コミュニティセンター】



町の指定避難場所
屋内アクセスポイント5台
建物内をカバーする

【歴舟地域コミュニティセンター】

